

第14分団を紹介します！

◆格納庫の所在地

別府市大字東山字田原1484番地の1（安楽寺付近）



◆管轄区域

東山1区、山の口、城島

◆団員について

団員の定数は25名、現在員19名(男性17名：女性2名)で活動をしています。

(R5.4.1現在)

《年齢層》

	全体数	女性数
10代	0	
20代	2	
30代	0	
40代	8	1
50代	1	
60代	8	1
70代	0	
合計	19	2

※別府市消防団全体の年齢層は、
消防年報に掲載していますので
ご覧ください。

◀職種▶

地方公務員、販売系、サービス系、建設・工業系、飲食系、農林業、自営業等

◆訓練や集会・例会の頻度は？

- ・消防団春季訓練、個別訓練を踏まえ、分団訓練としては、1回／月、4班編成（5～6名／班）にて実施しています。
分団長、副分団長も各班に参加し、放水訓練及びホース延長訓練等を実施しています。
- ・例会については、主に分団長会議後に実施しています。
例会：4回／年 役員会：2回／年
- ・別府温泉まつり協賛、扇山火まつり、別府ロープウェイ防災訓練（隔年）
- ・城島高原主催「はたらくるま」、東山幼少中学校主催「文化祭」

◆消防団員の魅力・やりがいは？

自分自身や家族をはじめ、地域の方々に微力ではあるが団員の総力をもって活動すれば少しでも安心・安全を届けられるのではないか！

ボランティア活動の精神そのものであるが、近年世界的規模で災害が多発している一方、東山地域では少子高齢化による過疎化、冬季道路凍結等悪環境下にあります。地域保全と活性化のため、団員一人一人の思いが、そこにあるものと思います。

◆分団からメッセージ

第14分団の担当区域は、別府ロープウェイ西側の旗の台から由布山登山口、そして鳥居から山の口までの広範囲に及びます。それが故に、林野火災は決して侮ることはできません。この方面を通行する際は、一筋の煙にも注意して運転していただければと思います。また、こちらにお出かけの際は、そこかしこに団員がおりますので、お気軽に声掛けをしてください。

火災等有事の際は「自分の命は自分で守る。そして、家族・仲間を守り、絶対に怪我をしないさせないこと」を合言葉に、団員相互のコミュニケーションを図り活動する所存でございます。

別府市消防署、消防団の益々の繁栄と各自の安全・健康を祈念します。

